

長崎県地域産業活性化計画（松浦地区分）

「グルメと歴史、豊かな水産資源を生かした観光物産事業の強化と地域ブランド強化による外貨獲得事業」

1. 地域の特徴及び目指す地域の将来像

（1）地域の特徴

松浦商工会議所が管轄する地域は、市の中心部としての商業集積を有する志佐町、水産業・ぶどうの生産地である星鹿町、商業とメロン・ぶどうの生産地である御厨町、水産基地と工業の町である調川町、松浦党の歴史と新たなる工業団地を目指す今福町に分かれている。

近年では松浦市が「アジフライの聖地宣言」を行ったことで、九州にとどまらず、全国規模のメディアによる報道特集も生まれ、アジフライがおいしい街、水産業の街として広く認知されるようになり、多くのお客様が来訪されるようになってきた。

また、平成24年に文部科学省が元の軍船や遺物が発見された松浦市鷹島町神崎免の沖合い海域を、日本で初めての海底遺跡「鷹島神崎遺跡」として国史跡に指定し、海底に沈んでいた礎を引き上げるなどその調査研究が進んでいる。このような価値ある歴史を活用すべく、当所が中心母体として「松浦市歴史観光推進協議会」を発足し、「元寇」（蒙古襲来）の歴史的価値観を、国が推進する「文化観光」の資源として選定し、地域活性化につなげていこうと、活動をスタートさせた。

交通面では、西九州自動車道の整備が進み、福岡と松浦の自動車運転時間が大幅に短縮し、約1時間30分で行き来できるようになっている。

その他、地元の地域ブランドの強化も進み、先に挙げた「松浦アジフライ」のほか、古くから縫製業が盛んであったことを背景にファクトリーブランドとして「WESTORY」が誕生し、話題となっている。水産面では漁業の島である星鹿町青島の水産加工品を統一ブランドとして売り込むための「青島〇」が誕生し活動を続けている。

（2）目指すべき地域の将来像の概略

①松浦ブランド商品のラインナップ増と販売額増

松浦市は全国的に注目を受けている「松浦アジフライ」や今後観光アイテムとして注目される鷹島神崎遺跡など全国に誇れる観光アイテムを有している。加えて、西九州自動車道の延線や長崎IRなど、地理的な好条件が望める環境である。

よって、このようなビジネスチャンスを生かすためにも松浦のお土産やグルメ、



その他工業製品の開発を強化し、商品力、販売力を高めていきたい。

□想定客層

松浦に来訪される観光客やビジネスマン。特にアジフライを求めてこられるお客様

□販売想定製品

松浦のおさんじ（お菓子）、WESTORY（工場ブランドスーツ）、青島〇（青島町水産物）、松浦アジフライ（飲食店で提供されるお食事）、その他（新しいお土産品など）

②DXによる経営への転換速度強化

当所では、早くよりクラウド会計やクラウドレジなど、ビジネスアプリの活用強化に注力しており、現在では約25社程度がクラウド会計を活用されるようになった。しかし、全社的なデジタル化、DX化の取り組み数は非常に少ない状況であり、IT導入補助金活用数もほとんどない状況である。

よって、DX及びデジタル化に向けた経営への転換を進め、多くの企業が取り組む経営へ変革すべきと考える。

2. 当該地域で注力する分野

(1) 松浦ブランド商品の開発支援と販売強化支援

松浦市では、令和2年度より「松浦市産品戦略推進事業」において、「松浦の極み」を松浦の地域ブランドマーク（愛称）として、核となる産品12品目を指定し松浦ブランドの販売力強化を進めている。



その中には当所が設立当初より関与している「松浦のおさんじ（松浦のお菓子）」も含まれていることから、このおさんじの販路拡大支援が必要と認識している。



また、地域ブランド品である、地元縫製工場初のファクトリーブランド「WESTORY」や島民一体となって島内水産物をブランド商品として展開している青島〇などの商品力強化と販路拡大も進める必要がある。



加えて、現在当所が中心となって進めてる「元寇」をテーマとした歴史観光に関しても、関連商品（お土産品）等の開発を進めていく必要がある。

(2) DX、デジタル化に取り組むための個社支援の強化

企業の業務プロセスの変更により、日常の業務工程自体の効率化を目指す。この変革により、今までにないサービスや商品の提供方法の実現も目指す。

また、既存システムの老朽化への対応に関して、「開発当時の担当者の不在」「機能追加による複雑化」などの問題が発生しているため、このような企業を対象に局所的ではなく、全社的なDXを行い新たな業務プロセスの導入を図り競争力の高い企業の育成を行う必要がある。

(3) 中小企業の経営力強化及び創業強化

当地域はここ数十年間天災が少ない地域であることから、リスク管理に対する意識が高いとは言えない。よって、事業継続に対する備えを強化する必要がある。

また、現在経営者年齢が高齢化し、若年層経営者が少ない状況にある。よって、第三者承継等も含めた事業引継ぎや新規創業者数増を図っていく必要がある。加えて、販路拡大支援や創業支援を積極的に取り組み、廃業件数削減と企業件数増加を図り域内経済の活性化を力強く進めていくべきと考えている。

3. 今後の目標と活動計画

(1) 松浦ブランド商品の開発支援と販売強化支援

①「松浦のおさんじ」支援（対象7社）

■目標設定値

【年度ごとの達成企業目標】

基準年（2022年）を100とした場合に以下の数値目標を設定

	基準年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年
指数	100	105%	108%	112%	116%	120%
達成企業数	—	2社	3社	3社	4社	4社

■活動内容

1) 春のお菓子祭りの開催

3月におさんじ全店舗が集結し、春の新商品等の発表及び即売会を実施

2) 商品のブラッシュアップ

食の専門家を招聘し、現在のおさんじ商品のブラッシュアップ

3) ふるさと納税販売の強化

松浦のおさんじブランドを活用し、ふるさと納税返礼商品アイテム数の増強を図るため、出品までのノウハウ等の勉強会の開催。

②WESTORY支援

■目標設定値

(単位：千円)

	基準年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年
ブランド商品売上額	15,252	16,000	18,000	19,000	20,000	21,000

■活動内容

本ブランド商品の更なる販路拡大を目指すために、専門家を招聘し、年間の販路拡大企画への指導を行っていただく。(県内診断士を想定)

また、WESTORY大販売会の開催支援を行う。

③青島〇支援

■目標設定値

	基準年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年
新商品開発数	3	1	1	1	1	1

※毎年1商品の開発を行う。

■活動内容

- ・食の専門家を招聘し、新たな新商品開発に取り組む。また、福岡等への販売ルートの開拓を進める。

(2) DX、デジタル化に取り組むための個社支援の強化

■目標設定値

	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年
DXセミナー参加者数	10	11	12	13	14
IT導入補助金等活用数(国、県、市)	3	5	6	7	8
クラウド会計導入企業	3	3	2	2	2

■活動内容

- ・専門家を招聘してのデジタル化やDX経営に関するセミナーの開催や個別相談会の実施を行い、補助金活用を通じ、企業のDX化を進める

(3) 中小企業の経営力強化及び創業強化

①事業継続力強化支援

■目標設定値

	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年
BCP(簡易シート含む)作成支援	8	8	8	8	8
セミナー開催数	1	1	1	2	2
個別相談会参加数	2	2	2	3	3

■活動内容

- ・松浦市松浦市福鷹商工会と共同で本項目に取り組む。流れとしては、全体セミナーを開催し、専門家による個別相談会の開催、作成に関する支援を行っていく。

②販路拡大支援

■目標設定値

	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年
小規模事業者持続化補助金申請支援数	8	8	8	8	8
松浦市がんばる補助金申請支援数	4	4	4	4	4
その他補助金申請支援数	5	5	5	5	5

■活動内容

- ・タイムリーな情報提供を行うために、当所LINE公式アカウントを活用し補助金活用案内を実施。
- ・巡回窓口相談時における案内強化。
- ・専門家派遣時における各種補助金活用相談を必ず盛り込むように調整。
- ・スムーズな申請につなげるために診断士派遣事業（長崎県事業継続・再構築サポート事業）を積極的に活用する

③創業支援

■目標設定値

	2023	2024	2025	2026	2027
創業者件数	5	5	5	5	5
創業塾塾生数	15	15	15	15	15
特定創業認定数	4	4	4	4	4

■活動内容

- ・創業塾を開催し、経営スキルの向上と起業意欲の創出を図る
- ・専門家による創業相談会の実施
- ・金融機関と連携し、創業融資手続きを全面的に支援

④事業承継支援

■目標設定値

	2023	2024	2025	2026	2027
事業承継件数	3	3	3	3	3
事業承継相談会参加者数	5	5	5	5	5
事業承継診断シート	20	20	20	20	20

■活動内容

- ・巡回窓口時に事業承継診断を実施
- ・長崎県事業承継・引き継ぎセンターと連携した個別相談会を開催